

2024 年度 最終 1 月東大本番レベル模試 地理探究 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

第 1 問 (20 点)

設問 A

(1) 2 点 (各 1 点×2)

アーツンドラ (ツンドラ気候) イートナカイ／カリブー

(2) 2 点

単位面積当たりの日射量が少なく、その季節変化が大きいため。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【年平均気温が低い理由】

○ 単位面積当たりの日射量が少ない／太陽光の入射角が小さい／太陽高度が低い →1 点

②<1 点> 【気温の年較差が大きい理由】

○ 日射量の季節変化が大きい／季節により日射時間が大きく異なる

／夏季 (夏至頃) は白夜, 冬季 (冬至頃) は極夜になる →1 点

(3) 3 点

隔海度の高い内陸に冬季の高気圧が発達して寒冷少雨となるが、夏季の高温と永久凍土表層の融解による水分が針葉樹林を育てる。(2 行)

【加点ポイント】

①<2 点 (1 点×2)> 【寒冷で乾燥する理由】

○ 隔海度が高い／内陸である／大陸内部に位置する →1 点

○ 冬季に高気圧 (シベリア高気圧) が発達する／冬季は下降気流が卓越する →1 点

②<1 点> 【針葉樹林が分布する理由】

○ 夏季に永久凍土の表層が融解し水分を供給する

／少ない降雨が永久凍土層に浸み込まず水分が保たれる →1 点

(4) 2 点

メタンや CO₂ の放出による地球温暖化の促進, 地盤沈下による建物やインフラへの被害, 古代の病原体の復活などが懸念される。(2 行)

(次ページへ続く)

【加点ポイント】

①<1 点> 【地球環境への影響】

- メタン (CO₂) の放出による地球温暖化の促進 →1 点
- ×「地球温暖化の促進」のみ

②<1 点> 【人間生活への影響】

- 地盤沈下／建物倒壊／インフラ（上下水道／道路）への被害
 - 古代の病原体の復活
 - 植生の変化による先住民の狩猟や採集への影響
- } ○いずれかで 1 点

(5) 3 点 ※[指定語句] 運河 航路 2 つ全て 下線付き で使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

海氷域面積が減少している。北極海航路の利用拡大で、スエズ運河経由の南回り航路より、時間短縮や船舶の大型化が可能となる。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【図から読み取れる現象】

- 海氷域面積の減少 →1 点

②<1 点> 【①の貨物輸送への影響】

- 北極海航路の利用拡大／北極域（北極海）の船舶の航行が可能となる →1 点

③<1 点> 【②の利点】

- ・スエズ運河経由の航路より／スエズ運河経由に比べて
 - ・時間（日程）短縮／燃料費（コスト）の削減／船舶の大型化が可能
- } ・2 つ揃って○1 点

設問 B

(1) 3 点 (1 点×3)

カーデンマーク キーアイランド クースウェーデン

(2) 1 点 (完答)

サー水力 シー風力

(3) 4 点

氷食を受けた山地斜面で偏西風が上昇して降水が多く、平地が少ない上に土壌が薄い寒冷地であるため森林の発達に乏しく、農耕には適さないが、高低差と河川水を利用した水力発電は盛んである。(3 行)

(次ページへ続く)

【加点ポイント】

①<1 点> 【農地面積が少ない理由】

○平地が少ない／土壌が肥沃でない／氷食を受けた土壌である／寒冷である →1 点

②<1 点> 【森林面積が少ない理由】

○降水が多く山地斜面の表土が流出しやすい／斜面が強い偏西風を受ける →1 点

③<2 点 (1 点×2) > 【水力発電の割合が多い理由】

★(2)「サー水力」の正解を加点の前提とする。

○国土が山がちである／地形に高低差がある／スカンディナヴィア山脈が位置する
／フィヨルドの高低差を利用する →1 点

○降水量が多い／地形性降雨に恵まれる／偏西風の風上に当たり降雨がある →1 点

第2問 (20 点)

設問A

(1) 2 点

a - エチオピア b - エジプト c - イラン d - UAE

※4 個正解 →2 点 1~3 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 2 点

家庭の煮炊き用の薪炭材であり、その過伐採が森林を破壊する。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【主要エネルギーと用途】

- ・薪炭材／バイオマスエネルギー
 - ・煮炊き／料理／燃料
- } ・2 つ揃って○1 点
- ×薪や炭

②<1 点> 【課題】

- 森林破壊／森林面積の減少／熱帯林の減少 →1 点
- ×地球温暖化

(3) 2 点

a 国はナイル川源流に水力発電用巨大ダムを建設したが、下流の b 国はダム湛水に伴う流量減による自国の水不足を懸念している。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【プロジェクトの内容】

- ・発電用
 - ・ダムの建設
- } ・2 つ揃って○1 点

②<1 点> 【b 国との対立の要因】

- ・ナイル川 (解答のどこかで触れていれば可)
 - ・流量の減少／(b 国の) 水不足
- } ・2 つ揃って○1 点

(4) 4 点 ※[指定語句] 経済制裁 都市建設 中継貿易 3 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

c 国は国際社会から経済制裁を受けているが、d 国を中継貿易地として他国との貿易が行われている。また、d 国で都市建設等に従事する c 国の移民からの送金が、重要な外貨獲得源となっている。(3 行)

【加点ポイント】

①<2 点 (1 点×2) > 【貿易上の役割】

- d 国を中継貿易地として c 国と他国との貿易が行われる
／ d 国内の c 国系企業が c 国への中継貿易の機能を果たす →1 点
- c 国は国際社会から経済制裁を受けている／ c 国への経済制裁の抜け道となる →1 点

②<2 点 (1 点×2) > 【c 国からの移民の役割】

- c 国の移民 (出稼ぎ) からの送金が外貨獲得源となる →1 点
- (c 国の移民は) 都市建設等に従事する
／ d 国内には都市建設等に関わる雇用が多い →1 点

設問 B

(1) 3 点

南部で通じない連邦公用語のヒンディー語に代わり共通語の機能をもつ英語が、経済のグローバル化で教育上の地位も高めている。(2 行)

【加点ポイント】

<2 点 (1 点×2) > 【英語が使われる理由】

- ヒンディー語が南部では通じない／主要言語が北部と南部で異なる →1 点
- 英語が共通語の機能をもつ／英語は北部でも南部でも通じることが多い
／旧宗主国の言語を利用することで民族対立を回避する →1 点

<1 点> 【近年、英語が重視される理由】

- 経済のグローバル化／インド市場の自由化が進んだ
／外資の導入 (外国企業の進出) が進んだ／ICT 企業の雇用が拡大した →1 点

(2) 4 点

女性識字率の低さや男性との格差の大きさは、女性が家事や農作業に縛られ、教育の機会を奪われていることを示しており、自己決定を制約された末の早婚や家族計画の知識不足による多産を招く。(3 行)

【加点ポイント】

①<2 点 (1 点×2) > 【北部農村部の識字率の特徴とその意味】

- 女性識字率が低い／識字率に男女間で格差がある →1 点
- 女性の教育機会が奪われている／女性が家事や農作業に縛られている
／女性の社会地位が低い／男尊女卑の傾向が強い →1 点 (次ページへ続く)

②<2 点 (1 点×2) > 【①の婚姻と出産への影響】

- 女性の早婚率が高くなる／女性が早婚を強いられる／結婚に女性の自己決定権がない →1 点
- 家族計画の知識不足による多産を招く／多産傾向が改善されない →1 点

(3) 3 点

市場情報による農業増収，モバイルバンキングによる財産管理や起業支援，動画での健康情報や教育機会の提供などが期待できる。(2 行)

【加点ポイント】

<3 点 (1 点×3) > 【携帯電話保有の女性地位への影響】

- 市場情報（需給量／価格／販売ルートなど）の利用による農業増収
／ICT 技術の導入による農業増収
- モバイルバンキング利用による女性の経済的自立（自分のお金を管理）
／マイクロファイナンス利用による女性の起業
- 健康（避妊・出産・育児など）の情報提供／健康のオンライン相談を可能にする
- 教育機会を提供／女性の自己啓発を支援
- 女性の雇用機会を増やす／内職の機会の増加
- SNS を通じた他の女性との交流機会を与える／SNS を通じて孤立を軽減する
- 識字率の増加
- デジタルデバイドの解消

○1 つ 1 点
3 点まで

第3問 (20 点)

設問A

(1) 1 点 (完答)

- ①-A ②-C ③-B

(2) 3 点

建物の老朽化や住環境の悪化に伴い郊外へ流出した人口が、再開発で新築された高層住宅への富裕層の入居により、増加に転じた。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【変化の内容】

- ・(1995 年までは) 人口が流出した/人口が減少した
 - ・(2000 年以降は) 人口が増加した/人口の都心回帰がみられる
- } ・2 つ揃って○1 点

②<1 点> 【人口流出の背景】

○建物の老朽化/住環境の悪化/地価の高騰/住宅価格(家賃)の高騰 →1 点

③<1 点> 【人口増加の背景】

- ・再開発
 - ・地価の下落
 - ・高層住宅(高層マンション)の増加/住宅供給の増加
 - ・富裕層の入居/ジェントリフィケーション
- } ・いずれか 2 つ以上で○1 点

(3) 2 点

- ①-ア ②-イ ③-ウ

※3 個正解 →2 点 1~2 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(4) 3 点

ニュータウンの開発時に一斉に入居した働き盛りの世代が定年退職の時期を過ぎ、市外への通勤者が減って昼間人口が増えたため。(2 行)

【加点ポイント】

★(3)「②-イ」の正解を加点の前提とする。

①<1 点> 【居住者の以前の特徴】

○ニュータウンの開発時に一斉に入居した/入居時は働き盛りの世代だった
/ (1990 年以前は) 市外(都心)への通勤者が多かった →1 点

②<1 点> 【居住者の現在の特徴】

○定年退職の時期を過ぎた/定年を迎えた/60 歳(65 歳)以上になった
(それぞれ、職を辞めるというリタイアのニュアンスが必要) →1 点

③<1 点> 【②の影響】

○市外(都心)への通勤者が減った →1 点

(5) 3 点

②には坂や階段が多く、高齢者の移動の支障となる。③には不規則に敷かれた狭い道路が多く、自動車で移動する際に不便である。(2 行)

【加点ポイント】

①<2 点> 【②での問題と背景】

- 高齢者の移動が困難／生活難民の発生 →1 点
- 坂や階段が多い／バリアフリー化が遅れている →1 点

②<1 点> 【③での問題と背景】

- ・自動車での移動が困難／交通渋滞が起きやすい／緊急自動車の迅速到達が困難
 - ・狭い道路が多い／入り組んだ道路が多い／道路が無秩序（不規則）に敷かれた
- } ・2 つ揃って
○1 点

設問 B

(1) 4 点 ※[指定語句] インフラ ごみ収集 スポンジ化 3 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

市街地内に空き地や空き家が増え、経済が停滞する都市のスポンジ化が進んだ一方で、市街地は周辺に拡大し、下水道等のインフラ整備やごみ収集等の公共サービスにかかる行政コストが上昇した。(3 行)

(次ページへ続く)

【加ポイント】

①<2 点 (1 点×2) > 【都市の状況について】

- 都市 (市街地) のスポンジ化が進んだ →1 点
- 市街地内に空き地 (空き家) が増えた/商店街がシャッター通りになった
/市街地の人口密度が低下した →1 点

②<2 点 (1 点×2) > 【コンパクトシティの必要性の背景】

- 市街地が周辺に拡大した/スプロール現象がみられる →1 点
- インフラ整備やごみ収集等の行政コストが上昇 →1 点

(2) 4 点 ※[指定語句] L R T シェアサイクル 低炭素社会 低床 4 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

低床で高齢者の乗降も容易なL R Tやシェアサイクル等の導入で公共交通を充実させた都市中心部に人や施設を集中させ、規模と密度の適正な市街地と、自動車に依存しない低炭素社会を実現する。(3 行)

【加ポイント】

①<2 点 (1 点×2) > 【コンパクトシティ化の目的や利点】

- 都市中心部に人や施設を集中させる/市街地の規模と密度を適正にする →1 点
- 低炭素社会を実現する/自動車への依存度を下げる →1 点

②<2 点 (1 点×2) > 【コンパクトシティ化の方法】

- L R Tやシェアサイクル等を導入する/公共交通を充実させる →1 点
- 低床で乗降が容易なL R T →1 点